

スルホニルウレア系 (SU系) の成分を含有する水稲除草剤の使用にあたって

主なSU系成分とこれらを含有する薬剤の例 (※剤型名は省略)

プロピリスルフロン	: メガゼータ、ゼータワン
イマゾスルフロン	: バッチリ、イッテツ 他
ピラゾスルフロンエチル	: ダブルスター、シリウスエグザ 他
ベンスルフロンメチル	: イッポン、ゴウワン 他

SU系成分による退色 (黄化) 症状について

水稲除草剤を散布後、SU系成分が稲体に多量に取り込まれるような条件では、代謝が追いつかず、稲の葉身が退色 (黄化) することがあります。

この症状は一般的に散布後1週間程で現れますが、代謝が進むとともに通常の生育に戻り、新葉へ影響も認められません。

退色 (黄化) 症状の例



使用上の注意事項について

SU系成分を含む除草剤を散布する際には、以下の点に留意し使用願います。

- ① 健苗移植に努める。
(軟弱苗を植付けしない)
- ② 耕起・代かきは丁寧に行い、移植は適切な深度で行う。
(極端な浅植での使用を避ける)
- ③ 砂質土壌や漏水田で使用しない。
- ④ 薬剤ごと定められた使用法を遵守し散布する。

